



書道家
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉
岡田恵和



第三十七筆

いつも再出発

机の前に小さい鏡があって、僕の背中にある本棚が常に映っている。リリアン・ヘルマンの「眠れない時代」という本があって、その帯に「いつも再出発」と書いてあるのが常に見えます。脚本家の仕事って、いくらがんばってもアドバンテージにならないんですよ。見る人はあの役者さんが見たいからとかいう理由で見ているわけだから。小説家やアーティストとは違う。いつもリ・スタート＝再出発。でも、それが嫌いじゃないし、いつも危機感をもって新鮮な気持ちでいられる理由だと思います。なので、その本の場所だけは変えませんか(笑)。

武田双龍

同じ日々の繰り返しでも、世界はいつでも新鮮な気持ちを思い出させてくれるものです。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。
<http://so-ryu.com/>